

2023年度厚生労働省医政局委託事業
「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」

連携型BCP/地域BCP策定モデル地域

広島県広島市 中区吉島圏域 における取組み

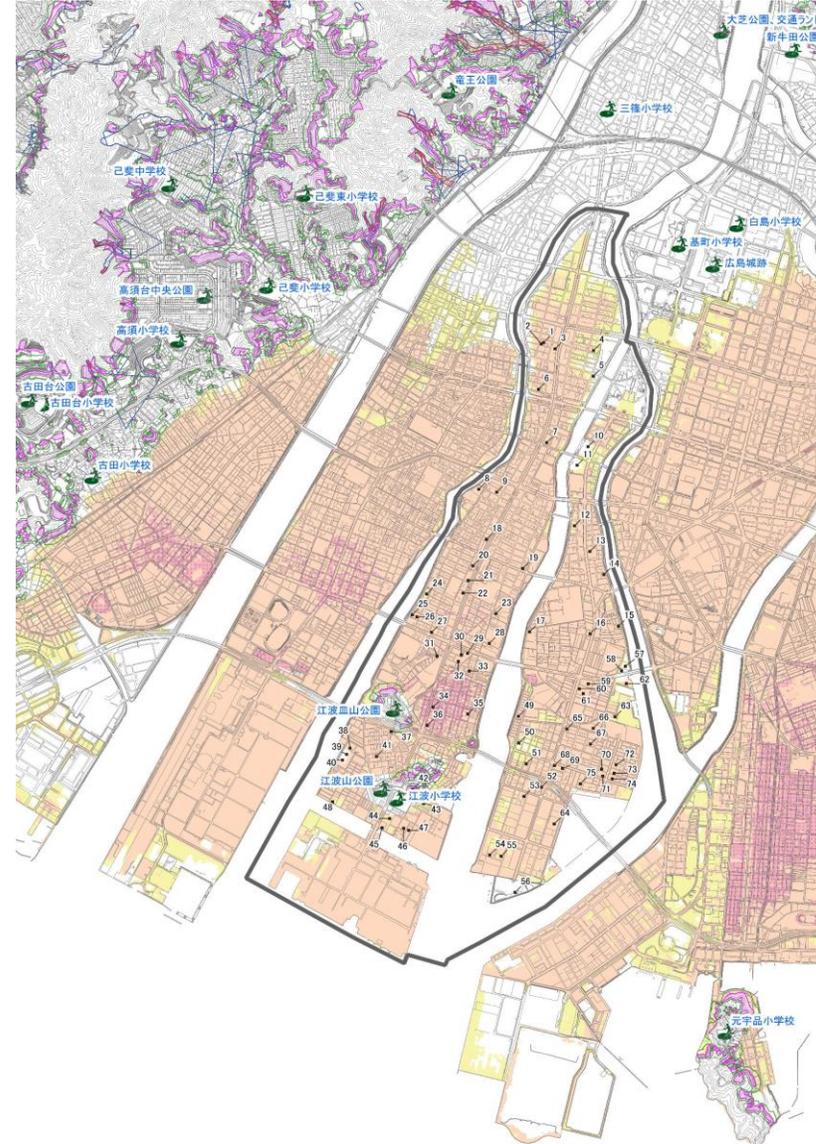
吉島圏域多職種連携会議(吉島中学校区)

事業担当:医療法人和平会 折口医院 高橋浩一

小委員会: 折口医院 高橋、田丸整形外科 田丸、波田歯科 波田、
ア歯科 小松、訪問看護ステーションこすもす 伊藤、
居宅介護支援事業所こすもす 大野、吉島地域包括支援センター 岡崎、
広島市中区地域ささえあい課 鍛冶岡、広島市中区医師会 稲田

地域の状況

- 人口 2023年7月現在 12243世帯、 23882名
- 地域の特徴 広島市は 8区ある。
中区、南区、東区、西区については
太田川の河口 三角州を基に発展した街。
干拓、あるいは埋め立てによって市街地が広がった。
= 低地が多く、浸水・高潮・洪水の危険度が高い。
南海トラフ地震では約3メートルの津波浸水予測
太田川は6本に枝分かかれし、それぞれの川に
囲まれた「島」として 存在している。
= 災害時には孤立する、ということ。
吉島圏域は 一つの島全体であり、中学校区である。
= 団結力は強い、連携は強い、ということ。
わりと近くに 己斐断層、五日市断層がある。
= 直下型地震のリスクも存在する。震度6予測。
- 災害等の歴史 かつては河川氾濫が頻回に生じた。
地震、津波、河川氾濫の大被害は 近年はない。
- 在宅医療・ケア資源と病院等との連携
中区なので、在宅医療資源・ケア資源は豊富。
また医療機関同士の連携、病診連携も 密である。
多職種連携会議を 他地区にさきがけて実施している。
また新型コロナでは吉島モデルを作成し対応した。



わが地域の課題

- これまでの被災経験・コロナ対応で特筆すべきこと
新型コロナでは、私たち吉島圏域では「新型コロナ対応 吉島モデル」を2021年1月 独自に制定し、公開した。行政や医師会に言われて対応したのではなく、自主的に問題を把握し、地域に即したモデルを作成したものである。「吉島圏域の患者・住民は 吉島圏域で守る」、というのが基本姿勢である。
- 連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由
本年度の吉島圏域多職種連携会議のテーマは「防災」です。 どうせ防災に取り組むのであれば ということで モデル事業に手上げをさせていただきました。
- わが地域のBCP観点からの課題
感染症、直下型地震、河川氾濫浸水、南海トラフ地震による津波・浸水 の4つが 主に想定される課題である。このうち感染症は コロナ対応吉島モデルの応用で対応が可能。 河川氾濫も 太田川放水路が完成後は 一度も生じていない。直下型地震対応、南海トラフ地震の津波対応 の2つが 当地域の課題である。

今年度の取り組み(1)

・目的(何をを目指すのか) ・実際にどのようなことにチャレンジするのか

吉島圏域で在宅医療に関わっている医療機関に確認したところ、BCPを作成しているクリニックは1軒もなかった。まず、本年度中に自医療機関のBCP作成をおこないます。「在宅医療提供機関を対象とした在宅医療提供機関におけるBCP(事業継続計画)策定支援研修」に無床診療所コース(当院)、有床診療所コース(はしもと内科)が参加し、実際にBCPを作成します。そこで学んだ内容を地域医療機関に伝達講習することになっています。

また、BCP作成済みの病院や、災害医療の専門家などから勉強会で学びます(全4回)。

自医療機関BCP作成の過程で出た問題点を共有し、医療機関同士の連携型BCPを本年度中に作成します。「災害対応 吉島モデル」

上記勉強会は地域多職種連携会議で共有され、地域BCP作成に向けて動きます。(が、形になるのは来年度になると思っています・・・)

今年度の取り組み(2)

・必要な支援 このような機会を与えていただきありがとうございます

・具体的スケジュール

在宅医療提供機関におけるBCP(事業継続計画)策定支援研修のスケジュールは無床診療所11月18日まで、有床診療所1月13日まで、と なっています。

地域医療機関への伝達講習会は 第1回は年内に、第2回は1月後半になりそうです。

吉島モデル作成のための勉強会。いずれも勉強会後にブレインストーミングあり。

第1回 2023年8月17日(木)18時から18時30分。吉島福祉センター会議室

18:00-18:05 吉島病院BCPの簡単な御紹介。経営企画課 岡田光太郎氏

18:05-18:30 在宅酸素患者への災害時の対応。テイジンサンソ広島営業所

第2回 2023年9月14日(木)18時から18時30分。アステールプラザ 中会議室。

18:00-18:05 土谷総合病院BCPの簡単な御紹介。

講師:土谷総合病院 事務部副部長 山内淳寛氏

18:05-18:30 災害時にHMネットのできるここと。

講師:広島県医師会 広報情報部 橋本武司氏

今年度の取り組み(2)

吉島モデル作成のための勉強会

第3回勉強会

日時: 10月12日(木) 18時から19時30分

会場: 広島大学千田キャンパス L棟5階 多目的スペース

講演1: 広島赤十字・原爆病院BCPの御紹介(5分程度で簡単に) 社会課課長 林氏

講演2: 広島大学 公衆衛生学 久保達彦教授

事業継続計画とは～災害医療の発展経緯に学ぶ

講演3: 産業医科大学 産業生態科学研究所災害産業保健センター 立石清一郎教授

事業継続計画とは～産業医の立場で作成に主導的に立ちあった経験をもとに

第4回勉強会

日時: 11月9日(木) 18時から19時30分。アステールプラザ大会議室

講師1: 広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授 後藤 秀昭 先生

「広島で予想される南海トラフ地震による地震と津波」

講師2: 広島市中区地域おこし推進課 金羽木課長。

町内会長、民生委員、社協、自主防災、地域の防災士などへの広報方法を検討中

今年度の取り組み(3)

・7月1日以降の進捗

7月18日 吉島圏域多職種連携会議。 参加63名、意見交換会30名。

講演:メインテーマ:「災害 今そこにある危機」。 小松宏 防災士

- ・吉島圏域で起こりうる災害～過去の災害から学ぶ～(田丸医師)
- ・防災に対する事前準備の大切さ(高橋医師)
- ・災害に対する現状及び課題について(吉島地域包括:岡崎センター長)

「災害対応 吉島モデル」作成のための勉強会 日程、講師、講演内容の確定。

第1回 8月17日 参加12名(医師・歯科医師のみ)、ブレインストーミング6名。

第2回 9月14日 参加37名、ブレインストーミング13名。

第3回 10月12日

第4回 11月9日

在宅医療提供機関におけるBCP(事業継続計画)策定支援研修

参加: 折口医院(無床診療所コース)、はしもと内科(有床診療所コース)

地域医療機関への BCP作成伝達講習会は12月、1月に予定